

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成29年度第4回入間市高齢者福祉審議会
開 催 日 時	平成29年7月19日(水) 午後2時00分 開会・午後3時30分 閉会
開 催 場 所	市役所5階 全員協議会室
議 長 氏 名	春名 恭一
出席委員(者)氏名	春名 恭一、法師 八郎、澤田 壽一、坂本 嘉久、大坂 隆俊 田中 孝彦、松本 めぐみ、石黒 督悦、川名 千鶴子 原田 隆司、森 政江
欠席委員(者)氏名	澤田 茂、松下 庄一、森本 剛、大島 光恵
説明者の職氏名	高齢者支援課 主幹(高齢者支援担当) 岩田 孝弘
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 入間市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の 策定について ①計画の各論について ②その他 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	資料1 介護給付サービスの見込み 資料2 第3回策定部会での意見 基本指針(案)について(新旧案)
事務局職員職氏名	福祉部長 宮岡 実、福祉部次長 田代 高久 高齢者支援課長 宇津木 教芳、主幹(高齢者支援担当) 岩田 孝弘 主任 神山 晴義 健康推進部長 晝間 昭彦、健康推進部次長 田代 清治 介護保険課長 町田 利男、主幹(地域支援担当) 下村 佳司 主幹(介護保険担当) 粕谷 郁恵
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過)

○ 議 題

(1) 入間市高齢者保健福祉計画・第 7 期介護保険事業計画の策定について

①計画の各論について

②その他

質疑応答

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
宇津木課長	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>ただいまより平成29年度第4回入間市高齢者福祉審議会を開催いたします。はじめに、春名会長よりご挨拶をお願いします。</p>
春名会長	<p>(あいさつ)</p>
宇津木課長	<p>ありがとうございました。会議の進行につきましては、高齢者福祉審議会条例第8条の規定で会長が会議の議長となる旨が規定されておりますので、春名会長に議長として以後の会議の進行をお願いいたします。</p>
春名会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。委員の皆様方のご協力をいただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>本日の出席委員は、11人です。澤田（茂）委員、松下委員、森本委員、大島委員より欠席との連絡がありましたので報告いたします。</p> <p>よって条例第8条第2項の規定に基づき、会議は成立いたします。</p> <p>また、会議の傍聴については、ホームページ等で周知したところ、希望者はございませんでしたのでご報告いたします。</p> <p>次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。今回は、森委員、宜しくお願いいたします。</p> <p>本日議論いただく内容は2点でございます。1点目として「計画の各論について」、2点目として「その他」となります。順次、事務局から説明をいただき、ご質問等をいただくかたちで進めて行きたいと思っております。</p> <p>それでは、「計画の各論について」の審議を進めたいと思っております。法師副会長より第3回策定部会の報告をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
法師副会長	第3回策定部会の報告
春名会長	ありがとうございました。それでは、事務局より説明をお願いします。
岩田主幹	資料の確認 資料2について説明
粕谷主幹	資料1、第1章について説明
下村主幹	資料1、第2章について説明
春名会長	ありがとうございました。資料として、国の基本指針（案）が出ているので、今回の資料1の第1章「介護給付サービスの見込み」と、第2章「地域支援事業」はどこに該当するのか教えていただけますか。
下村主幹	P32の2（一）からP35までが今回の説明をした部分になります。
春名会長	今回の資料はほとんど文言や数字が入っていない状態なので、議論しにくい部分があるとは思いますが、指針等と見比べながら、この様な形式で良いかというところで、ご意見ご質問等をお願いしたいと思いますが、私から質問します。推計するのはいつごろになりますか。
粕谷主幹	国から「見える化システム」のデータが出てきますので、これから着手するところです。
岩田主幹	補足ですが、前回の計画でも10～11月頃に地区の説明会をしております、その時期に合わせてこちらの数字の方も示していけたらという事

発 言 者	発 言 内 容
原田委員	<p>で考えております。</p> <p>介護にかかわる地域支援事業についての課題提起として、どのように具体的に推進していくかという事になると思いますが、介護認定については少し見直しされたという事もあり、見込み量は見直しに伴って減少の傾向にあると思います。ですから正確なデータを、ぜひお願いしたい。私は見直しによって対象者が少なくなっていくのではと思っています。例えば、要介護3についていえば、見直しによる減少の部分と、リハビリや様々な事業によって良い方向に進んでいる等の推移や、入間市の人口構成において高齢者が増えている事も含めて分析が必要だと思えます。それが入間市の介護、医療を含めた方向性のポイントだと思えます。</p> <p>また、P 6（資料1）介護医療院についても、医師のご意見をいただくなどして、医療との連携の部分を含めて、もう少し詳しく説明できるようにしてほしいと思います。そして、表の方に注釈を入れていただくと良いのではないのでしょうか。</p>
春名会長	<p>私からですが、今回の会議資料として作成いただいた入力フォームの項目を、基本指針と照らし合せながら簡単に説明していただけますか。</p>
粕谷主幹	<p>基本指針のP 32、市町村介護保険事業計画の基本的記載事業の2、「各年度における介護給付等対象サービスの種類ごとの量の見込み」が、本日の説明の部分になります。P 33、ロ「指定地域密着型サービス以外の介護給付等対象サービスの量の見込み」が第1章の部分となりますが、内容すべてを網羅しているわけではありませんので、今後肉付けが必要であると考えています。また、P 34 の3「各年度における地域支援事業の量の見込み」からが、第2章となります。P 35 の4以降については、今回は含まれていません。</p>

発 言 者	発 言 内 容
下村主幹	<p>補足させていただきます。地域支援事業につきまして、P35（二）「包括的支援事業の事業量の見込み」において、特に在宅医療・介護連携、認知症総合支援事業、生活支援・介護予防サービスと密接に関わるとされている「第二の三の1」とは、P38の三の1「地域包括ケアシステム構築のため、重点的に取り組むことが必要な事項」になりますので、併せてご覧いただければと思います。</p>
春名会長	<p>何かご意見等ありますか。</p>
石黒委員	<p>P5「認知症対応型通所介護（デイサービス）」が2箇所となっておりますが、実際機能していないと聞いていますが、どのような状況ですか。</p>
粕谷主幹	<p>「認知症対応型通所介護」は実際には休止状態で、サービスを必要としている方が居る場合、他市町村の施設を利用させていただいている状況となっております。</p>
春名会長	<p>実際機能していないのですか。または、利用者がいないという事でしょうか。</p>
粕谷主幹	<p>事業所が休止状態となっております。</p>
春名会長	<p>職員の確保等の理由でしょうか。</p>
田代健康推進部次長	<p>補足いたします。認知症デイサービスにつきましては利用希望者がたくさんいらっしゃいます。所沢市に通年365日実施している老人の認知症デイサービスにおいても、通常のデイサービスとは違った人員体制、別のスペースが必要となっております。建物を建てる時には、相当な施設</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>整備補助があり、入間市でも2箇所開設しましたが、やはり途中で報酬改定もあり、大変厳しい状況となりました。人員不足のため、まだ廃止ではありませんが、2事業所とも休止との届け出が出ています。所沢市においても、認知症の方を積極的に受け入れてきたデイサービスが、ここに来て残念ながら一般デイサービスに切り替えている状況で、全国的に認知症デイサービスを運営する事業所にとっては、とても厳しい人員の確保、報酬改定の内容になっている所です。</p>
春名会長	<p>ニーズはたくさんあると思いますが、実際休止状態ということで、今後はどのようになるのでしょうか。</p>
田代健康推進 部次長	<p>介護保険は平成12年にスタートし、その前後で入間市においても市の財源を投入し、デイサービス等の送迎ワゴン車を購入するなど、積極的に事業展開に関与してきました。現在、本来であれば認知症デイサービスを必要とする方達は、一般のデイサービスに吸収をされていますので、一般のデイサービスとしては相当厳しい状況だと思います。実際、認知症デイサービスのほうが、一般のデイサービスよりも報酬が良いのですが、人員体制について別々に管理者を置いて対応しなければならなく、基準も厳しくなっていますので、休止は事業者としてのやむを得ない判断なのではと思います。もちろん、市としてはこのままでよいとは考えておりません。積極的に何らかの手を打って対応しなければならないと考えております。これを機会に、委員の皆さまの積極的なご意見やアドバイスをいただければと思います。</p>
春名会長	<p>ありがとうございます。この現状について何かご意見はございますか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒委員	<p>実際、重度の認知症のお客様でも、受け入れなければならない現状で、どうしても困った時には相談して病院等へ行っていただくこともありますが、介護スタッフが対応しているのが一般のデイサービスの現状です。</p>
春名会長	<p>そういった現状を受け止めていくしかないのですね。これについて、ご意見等ありませんか。</p>
坂本委員	<p>「休止状態である」と記載することはできないのでしょうか。</p>
岩田主幹	<p>枠的には記載していますが、注釈として「※」等を付けるなどしての記載で、対応していきたいと考えております。</p>
春名会長	<p>他に何かありますか。</p>
川名委員	<p>現状の問題点を計画書に記載してはいかがでしょうか。問題を正直に浮き彫りにしていかないと、計画としてどうしたら良いのかわからなくなると思います。もう少し現状を踏まえて取り組んでいく必要があると思うので、計画書の文章に盛り込むことをぜひ検討してください。</p>
春名会長	<p>策定部会でも検討していただいて、数字が出た時点でまた審議するという事でよろしいでしょうか。</p> <p>他にあればお願いします。</p>
川名委員	<p>障害を持って高齢になられた方については、計画に盛り込まなくても良いのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩田主幹	<p>計画を作る上で、障害者の計画との整合性を図らなければならない話になりますので、今後、何かしら示していければと思っています。</p>
法師副会長	<p>P 3の「要介護（要支援）認定者数実績及び見込み」についてですが、P 5「計画期間内の施設整備量」との関連を示す分析の記載はないのでしょうか。</p>
粕谷主幹	<p>直接の関係などは、今までの計画書に記載はなかったと思いますが、全体の高齢者数や認定者数の見込みを出し、今の施設整備量がどのくらい不足しているのかを分析したうえで、老人ホーム等の整備計画を作ってきたのではないかと思います。</p> <p>認定者数に対する施設整備数につきましては、地域の事情やばらつきもあり、明確に計算式などでは出せないものなので、現状を分析して課題を抽出し、今後どのようにサービスの整備をしていくかをこれから検討していく必要があると思います。</p>
法師副会長	<p>方程式で出せるものではないとは思いますが、地域の特異性に見合った支援事業にしていくというのが現在の方針かと思っています。介護や支援を必要とする方を、直接施設で受け入れるのか、あるいは地域である程度支援していくのかという事を、何となくではなく、ある程度根拠を持って示してほしいと思います。</p>
森委員	<p>今の意見に関連していますが、要支援～要介護5までの方達が受けられるサービス等について、色々と計画が重複し、入り混じっているのではないかと思います。ですから、単純に数字は出せるものではないとは思いますが、一人ひとりに合ったサービスがケアプランとして生まれ、そのサービスを本人が十分に受ける事ができているのかというのは、把握するという事は出来ないのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
粕谷主幹	<p>たとえば、「こういうケアプランだけれど、施設が足りないから無理である」等という形で、実情と照らし調整しながらケアプランを作成しているのでしょうか。また、一人ひとりが必要とするサービスを、現在ある介護サービスで、何割程度カバーできているかという事は、把握されているのでしょうか。</p> <p>全体の介護度別の限度額に対しての利用率は出ております。ケアプランはケアマネジャーが利用者の状況を見て作っています。利用したいサービスがあっても、インフラ的になれば、他のサービスに代替することもあり得ますが、そのような細かい実情については詳しくは把握していないというのが現状です。ただ、今年度から始まっている介護給付適正化事業の一つである「ケアプランチェック」として、利用者に対するプランが適正なのかのチェックを行っています。</p> <p>ケアプランについては利用者と事業所の契約になっておりますので、基本的に市が介入することはありません。</p>
原田委員	<p>市からは指導しないのですか。</p>
粕谷主幹	<p>もちろん、地域密着型の事業所に関しましては、実施指導を行っていく必要はありますが、基本的にはサービスの担当者会議で話し合っ、プランの構成が決められ、それに基づいて介護保険のサービスを受けていただくこととなります。</p>
澤田（壽）委員	<p>今の話に関連してですが、在宅で生活を維持するのにも、レベルはたくさんあります。例えばデイサービスの利用回数や内容等、どのようなサービスが受けられるかは、ケアマネジャーの腕や情報量によるところもあります。さらに、ケアプランを作る時には、経済的な問題が第一に出てきます。ですので、満足度だけではなく、経済的な問題も考えてい</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>かないといけない。施設整備として特別養護老人ホームをつくれればつく るほど介護保険料も上がるため、皆が特別養護老人ホームに入れるよう 整備すればよいかという点、その点は、常々議論されているところで す。</p> <p>また、今はデイサービスもたくさん出来て、サービス合戦の様になっ ており、利用者是对応の良い所を選んで行っています。ケアマネジャー がプランを作る時に、そのような情報を知っているかどうかという点も ありますので、それぞれの利用者が満足できるサービスが受けられるよ う、レベルを上げられるよう、市の仕事としてもチェックすべきだと思 います。また、現在入間市でケアプランを作成する際に、特別養護老 人ホームを除いてサービスが足りないというような状況はないと思いま す。昔のようにショートステイが不足しているという事ありません。 以上が現状です。</p>
春名会長	<p>市が主催しているかは分かりませんが、ケアマネジャー会議など、声 として聞き取りをする機会がありますか。</p>
粕谷主幹	<p>介護支援専門委員協会という組織があり、主にケアマネジャーが集ま って研修会等をしていただいています。市の方から制度を改正する時 などの説明や、アナウンス等したい時にはお時間をいただいて、参加さ せていただいています。通常、色々なやり取りの中でケアマネジャーの 皆さんからは情報収集をしています。今後、このような場での情報収 集を考えていきたいと思っています。</p>
春名会長	<p>要介護等の判定には、市の方は行かれますか。</p>
粕谷主幹	<p>認定の方は澤田（壽）先生をはじめとする審査会という組織があり、 そちらに事務局として市の職員も同行しております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	そういった場でも、ニーズは拾えるのですか。
粕谷主幹	はい、そう思います。
春名会長	他にご意見、ご質問等ありますか。
川名委員	<p>個々のケースはありとあらゆるものがありますし、施設をつくれればよいというものではなく、それよりも施設の数や需要と供給の問題、また、あくまで個人の状況や性格、好みという部分はあると思いますので、個別のものはそれぞれで解決してもらい、私達ができる事としては、介護状態にならない生活になる様に、そして元気な人をいかに増やしていくかという事を重点に、具体的に計画を作っていく方が良いのではと思います。一度介護状態になった人をどうするかというのは、各々違うため、データを出すことで解決するものではないと思います。それよりも、今元気な人達や、これから高齢になる人たちを、いかに最後まで元気でいられるようにするかという介護予防こそが、計画の重要な柱になるべきではないでしょうか。介護予防について市民にお願いするのであれば、しっかりと計画をしてフォローしていくことが大切だと感じております。</p>
春名会長	<p>確かにそうだと思います。介護保険が始まった頃は、ある自治体では「健康体操」というのがありました。健康づくりは非常に大切なテーマであると思います。</p> <p>他に何かご意見ありますか。</p>
大坂委員	私自身はまだまだ深みに入れるレベルではありませんが、高齢者がいかに外に出ようという気分になるかというのは、市ぐるみ、各自治会等

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	<p>で働きかけて、少しずつ住民の中に根差していけば、うまくいくのではないかと思います。</p> <p>今回の会議資料で示されたフォームについては、まだ文言等はありませんが、基本指針に基づいて作られていると思いますので、これで良いのではないかと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>他にあればお願いします。</p>
下村主幹	<p>先ほどお話のあった介護予防について説明させていただきます。基本指針P35の(一)「総合事業の量の見込み」の「一般介護予防事業の推進に当たっては…」との一文がございます。「高齢者が年齢や心身の状況等によって分け隔てられることなく、参加することができる住民運営の通いの場が、人と人とのつながりを通じて、充実していくような地域づくりを推進することが重要である。」とありますが、入間市においても、ここ数年、「憩いの家」を活用して、住民主体の場等を少しずつ新しく作っているところです。今までも、委託事業として機能回復を含めた予防についての事業を行っておりますので、この計画の策定を踏まえて、介護予防事業について検討をしたいと思います。</p>
春名会長	<p>ご意見、色々ありがとうございました。</p> <p>今回は文言ではなく、形式だけを承認していただく形になりました。</p> <p>他に何かありますか。よろしければ、事務局でご意見を参考に、作成を進めていただければと思います。</p> <p>それでは次の議題「その他」について、事務局より連絡事項等がありましたらお願いいたします。</p>
岩田主幹	<p>今後のスケジュールについて説明</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	審議終了のあいさつ
宇津木課長	ありがとうございました。次第の4「その他」について、委員の皆さまからお知らせ等がありますか。
川名委員	「平成29年度 人財塾」のパンフレットについて説明。
宇津木課長	他に何かありますか。それでは事務局の方からお知らせがあります。
岩田主幹	「やまゆり長寿フェスティバル」について説明。
宇津木課長	閉会のあいさつを法師副会長よりお願いいたします。
法師副会長	<p>(閉会のあいさつ)</p> <p>大変お疲れさまでした。</p> <p>～平成29年度第4回高齢者福祉審議会 終了～</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成29年7月31日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____